

## 次回研究発表大会予告

# 第 29 回国際 P 2 M 学会春季大会は、 2020 年（令和二年）4 月 25 日（土） 千葉工業大学津田沼キャンパスで開催！ 大会テーマは「DX を加速する P2M」

千葉工業大学 関研一、小笠原秀人

2019 年 10 月 6 日（日）に慶應義塾大学三田キャンパスで開催された国際 P 2 M 学会理事会・評議員会において、第 29 回国際 P 2 M 学会春季研究発表大会が、2020 年 4 月 25 日（土）千葉工業大学津田沼キャンパスで開催されることが承認されました。また、実行委員長・副委員長に千葉工業大学の関と小笠原を充てることが併せて承認されました。

企業活動においては、新しいデジタル技術によって既存のビジネスから脱却し、新たな価値を生み出すためのデジタル・トランスフォーメーション

（DX）の取り組みが加速しています。昨今は、不確実性の増大が経済の見通しを困難にし、また、気候変動を始めとした様々な変化が世界規模で起こっています。国内では、あらゆる人が質の高いサービスを受けられる社会を目指し、日本が世界に先駆けて実現すべき将来像として Society5.0 のビジョンが掲げられ、人々の生活を様々な視点で良い方向に変化させるための根本的な変革が多方面で模索されており、都市のこれからのあり方なども今後変化していくことでしょう。

DX 実現の 3 本柱として、ビジネスモデル、業務プロセス、顧客体験が挙

げられているように、その加速のためには企業の経営活動のみならず、労働環境の変化、市民の社会活動や公共分野も含めた幅広い変革のアクションが重要になります。

DX 推進に当たっては、パラダイムシフトに対応するためのマネジメントとして、複数・異種のプロジェクトを並行して、企業の在り方や人の生活を変化させるためにプログラムの形で実施する必要があり、P2M の役割と期待も大きくなっていると思われます。

本大会では、デジタル・トランスフォーメーションとプロジェクト&プログラムマネジメントの関連性を議論し、今後、国際 P 2 M 学会が果たすべき役割を実践的な視点で議論する場としたいと考えています。

以上の背景より、次回の大会テーマとして「DX を加速する P2M」を掲げさせていただきました。開催場所の詳細、プログラムは追って発表されます。基調講演、パネルディスカッションのテーマ、登壇者についても、本大会の開催趣旨を踏まえて選定される見込みです。

P2M マガジン No. 8, pp.19-20 (2020)

研究発表要旨締切：

2020 年 2 月 17 日（月）24 時

研究論文締切：

2020 年 3 月 23 日（月）24 時

※ 国際 P2M 学会ホームページ「お知らせ」にて、春季大会に関する情報を順次公開致します。

<http://www.iap2m.org/>

津田沼キャンパスのアクセスは、東京駅から総武線快速で 28 分の JR 津田沼駅で下車、連絡歩道橋を使って徒歩 1 分。昼食も津田沼駅周辺に多くの商業施設が存在します。また、大会終了後の懇親会も学内で開催予定です。会員の皆様方のご参加をお待ちしております。

2019 年 11 月 11 日受理